

親の介護、自分の介護

高齢化が進むと、介護の問題が親世代から自身へ順番に起こるという家庭が増えてきています。現在、親が介護の状態になられている方は現実問題として金銭面の負担について理解されている方が多いのですが、身の回りにおられない方には具体性がなく漠然とされていると思います。**要介護度が高くなると、自宅で看る事が難しくなり、施設のサービスを受けていく事になります。費用が抑えられる施設はやはり人気が高く100人以上の順番待ちもよくあるお話です。**年金収入だけで介護費用を賄える方は少なく、預貯金等の切崩しを行い補われています。実際にどのくらいの資金準備が必要になるのかなど、確認をしてみたい方はお気軽にご相談ください。親やご自身の介護に対する事前準備は早期に始める事が大切だと思われます。



FP保険の相談所

垂水駅前店 078-862-8451 西神戸店 078-921-7701

営業時間：10：00～17：00 営業時間：9：30～17：30

営業日：月・火・木・金・土 営業日：月～金

ホームページ：右のQRコードから または

ライフプロモーション神戸で検索



＜取扱保険会社＞ メットライフ生命 アフラック
オリックス生命 三井住友海上あいおい生命
FWD生命 ジブラルタ生命 アクサ生命
東京海上日動あんしん生命 SOMPOひまわり生命
NN生命 三井住友海上火災 ソニー損保

FP保険通信

NO.58 2023. 1 発行

90歳を迎える方

日本では90歳を迎える方が、男性4人に1人、女性では2人に1人と非常に多くおられます。

生命表上で出生者のうちちょうど半数が生存すると期待される年数を「寿命中位数」いい、男性は約84年で女性は約90年となっていますので、上記のことが納得できそうです。

長生きについては大変うれしい事なのですが、現実的には、亡くなるまで健康で過ごせている方は少ないようで、健康寿命は男性約72年、女性約75年となっています。つまり**10年以上の期間医療費や介護費用の増加**で家計への影響が心配されます。

介護が必要になる主な原因は**男性の約25%は脳血管疾患**によるもので、**約14%は認知症**となっています。女性の場合は**認知症が約20%**で高齢による

衰弱や骨折・転倒がそれぞれ約15%を占めています。最近では、介護に対応出来る保険がたくさんありますので、ご希望に合わせて積立型や掛捨て等ご案内が出来ます。ご自身や親への保障を一度ご検討

されてはいかがでしょうか。



認知症と物忘れの違い

物忘れは体験した事の一部を忘れてしまいヒントがあれば思い出せます。**認知症は体験をまるごと忘れて**しまいヒントがあっても思い出せません。つまり忘れたことの自覚がないため、これも認知症の特徴のひとつです。

気になる方は、早目に一度「物忘れ外来」などを受診されたら良いと思います。医師の面接や神経心理テスト、MRI等の画像診断が行われて、認知症の有無を確認する事が出来ます。検査を早期に行う事で、軽度認知障害(MCI)段階で気づくことが出来る可能性が高くなります。**MC Iは認知症予備軍と言われ、適切なケアを行われた方の約26%が回復**するというデータが出てきています。

自分自身や大切な方を守るためにも何事も早期発見・早期治療が大切です。



FPから情報提供

介護保険金については、保険会社指定の支払い要件に該当して受取される保険金は非課税になります。ご本人が請求を出来ない状態になられても、事前に「指定代理請求人」を設定される事で必要になった保険金を確実に家族が受取を出来る制度もあります。

